

品川第一地区総合防災訓練

10月21日(日)、品川学園で、品川区防災協議会品川第一地区協議会主催の総合防災訓練が開催されました。

総合防災訓練は、「自分たちの町は自分たちで守る」という防災意識の向上と、「防災資器材の技術向上を図る」という自助・共助の強化を図るための訓練です。

訓練の内容として、消火器やスタンドパイプを使った初期消火訓練、AEDを使った応急救護訓練、起震車を使った地震体験や、倒壊家屋からの救出方法を学ぶ災害対応訓練の3つの訓練が行われました。

参加者が、訓練を周り終えると、品川警察署と品川消防署の合同演習が始まりました。品川警察署は、倒壊家屋からの要救助者の救出を行いました。チェンソーで木材を切り落とし、家屋の下敷きになってしまった人を救出しました。品川消防署は、高所からの救出を行いました。長く伸びた応急ハシゴで、学校の2階から救出を行いました。どちらの演習も緊迫した雰囲気、訓練に参加した方は、真剣な眼差しで、見学をしていました。



倒壊家屋からの救出
(品川警察署)



高所からの救出
(品川消防署)



(品川学園男子ポンプ隊) (品川消防少年団)
(品川学園女子ポンプ隊)

一斉放水訓練

訓練の最後に行われる放水訓練では、町会・自治会のポンプ隊、品川学園の生徒、消防団等が訓練を行いました。見事な放水に、見学者から歓声と大きな拍手が送られました。

～品川第一地区～
平成30年
防災特集

区内一斉防災訓練

12月9日(日)に区内一斉防災訓練が、実施されました。この訓練は、区民、区役所等の関係機関が首都直下地震に備え、防災に対する意識や地震発生時の行動力を高めることを目的として実施しています。

品川第一地区内の、4校の避難所では、各地区の町会・自治会の方が、仮設トイレの設置などの実践的な訓練を行いました。

避難所のひとつである品川学園では、今年、地域で中学生防災ボランティアを募集し、6人の中学生が参加しました。参加してくれた中学生は、積極的に地域の皆さんと訓練の運営に携わりました。訓練後には、実際に災害が起きた時の動き方を学べてよかったと感想がありました。また、地域の方からは、中学生が自ら行動している姿に頼もしさを感じたとの声があり、地域の防災意識の向上に繋がりました。

親子で防災訓練

11月18日(日)に、北品川一丁目町会の協力のもと北品川本通り商店会主催で、「親子で防災訓練」が品海公園およびその周辺で開催されました。同日に「ちびっこ祭り」が開催されていることもあり、たくさんの親子が参加しました。

この活動は、大勢の親子を対象に、気軽に防災訓練に参加して頂き、日頃から防災意識を高めてもらうことを目的に実施しています。

訓練内容として、水消火器体験、AED体験・見学、エアジャッキ、スタンドパイプ、煙体験、ポンプ車試乗などがありました。参加した子ども達は、楽しみながらも、訓練に真剣に取り組みんでいました。



(煙体験)



(水消火器体験)



中学生ボランティアの皆さん